アスファルト舗装工事試行技術審査基準

評価項目	選定の着目点		A	B	―	C
工事成績評価	現行の通り					
地域特性考慮	現行の通り					
過去年度発注状況	現行の通り					
工事実績	現行の通り					
企業評価	自社保有のアスファルトフィニッシャーの配置状況 ※	舗装機械配置	0.5A 自社保有機械を配置	3年以上の長期リース機械を配置	左記以外	
	工事施工県内におけるプラント保有状況 ※	プラント保有		自社単独保有		
	自社雇用の技能者配置状況 ※		自社雇用のオペレータを配置(ASフィニッシャー)			
	当該工事の作業拠点の保有状況 ※		0.5A 工事箇所周辺に保有	当該県内に保有	左記以外	
技術者評価	配置予定技術者の資格 ※	舗装施工管理技術者	1級舗装施工管理技術者	2級舗装施工管理技術者		
		その他は現行の通り				
	他は現行の通り					
安全管理状況	現行の通り					
表彰	現行の通り					
その他技術特性	技術的意欲(ISO9000の取得状況)※		あり			
	他は現行の通り					
指名回数	現行の通り					

※地域特性の考慮について
・「工事施工地域(工事箇所)とは、当該工事の県内とする」を追加する。
※企業評価における作業拠点についてを追加する。
・「工事箇所周辺」とは、当該工事箇所から約30km範囲内の行政区域(隣接県内も含む)とする。
・「当該県内」において地理的特性により一部行政区域(離島等)を除くことができる。
また、県境付近の工事においては隣接県の適切な行政区域を追加することができる。
※その他考慮すべき事項について
・「技術的意欲」において、ISO9000s取得業者については「A」評価する」を追加する。

アスファルト舗装、試行技術審査基準

試行で本県1件実施

九地整

国土交通省九州地方整備局は25日、通達「アスファルト舗装工事における指名競争入札方式の手続き等について」(平成14年7月12日付け)を受け、アスファルト舗装工事施工体制実態調査を実施すると共に、アスファルト舗装施行技術審査基準を策定した。同局では、基準を基に鹿児島国道事務所などでA等級を対象にした工事希望型指名競争入札3件を試行工事として実施する。

実態調査は、指名競争入札方式の手続きについて、アスファルト舗装工事に登録があるA等級83社及びB等級424社の有資格業者が対象。

それによると、施工技士の資格保有者は、Aランクが1級舗装技術者は580人で平均人数は約7・4人。2級舗装技術者は31人で平均人数は約0・4人で1・2級合わせて最も多い県は福岡県となっている。Bランクでは、1級が344人で平均人数は約0・9人。2級は161人で平均人数は約0・4人で最も多い県は鹿児島県で総数は175人だった。自社雇用の技術者数では、Aランクが総数943人で平均人数は約12・1人。県別では、大分県。Bランクでは、総数2265人、平均は約6人で、鹿児島県が最も多く総数は772人。

また、主要機械(Asフィニッシャー)の保有状況では、Aランクが総台数170台で、平均約2・2台で福岡県が最も多く、37台。Bランクは、総台数327台、平均約0・9台。県別では鹿児島県が最も多く、93台となっている。アスファルト合材プラントの保有状況では、総数は77基、平均約1基で福岡が最も多く、総数19基。Bランクは総数50基で平均0・1基。県別では長崎県が最も多く、総数は14基だった。

試行結果を分析評価

技術審査基準案策定へ

一方、この実態調査を踏まえた試行技術審査基準については、試行基準＝表参照＝により、14年度に3件の試行工事を実施する。試行は、新たに技術者評価として舗装施工管理技術者や企業評価等も加え、評価するものでA等級を対象に工事希望型指名競争入札3件を実施する。今後、同局では試行の結果を分析評価し、技術審査基準(案)を策定する予定だ。なお、鹿児島国道事務所の試行工事は、下荒田地区舗装修繕を予定している。

全建、平成14年の会員企業倒産

調査以来最悪の449件

全国建設業協会(全建、前田靖治会長)のまとめによると、昨年10月から12月までの会員企業の倒産は93件となり、6月から9月までの129件に比べやや減少したものの、前年同期の89件と比較すると4・5%増となった。これで、14年1月から12月までの1年間の累計は449件となり、13年より27・2%増の96件増え、調査以来最悪の結果となった。

14年の倒産件数累計449件は、全建会員企業2万8861社の1・5%にあたり、7年に倒産状況調査を始めて以来、倒産企業の累計は1817件に達した。全建では、「今後さらに市場規模の縮小が予想され、公共工事に依存する地方の中小建設業者を取り巻く環境はますます厳しさを増していく」と見て、警戒感を強めている。

また、14年の倒産件数をブロック別に見ると、北海道・東北が53件(前年比8・2%増)、関東・甲信越が107件(24・2%増)、東海が25件(4・2%増)、北陸が17件(41・7%増)、近畿が58件(28・9%増)、中国が55件(48・6%増)四国が28件(12・0%増)、九州が106件(41・3%増)。すべての地区で前年の倒産件数を上回り、中でも関東・甲信越地区と九州地区は、倒産件数が100件を超えた。

資本金階層別では、全建会員企業構成比で75%を占める資本金1000万円から5000万円未満の企業の倒産が310件(前年比7・0%増)で、全体の7割近くを占めている。資本金1億円以上の倒産は、13年の11件に対し、14年は26件と倍増し、中でも上場企業の大型倒産が5件あった。

業種別の倒産は、年間累計で土木が271件、建築が72件、土木建築が88件だった。

建設業許可に必要な主任技術者

冷凍空調施工技能士追加

国土交通省は20日、建

冷凍空気調和機器施工は、雇用能力開発促進法に基づく技能検定の一つで、1級と2級がある。今回の改正は、同検定の合格者を、建設業法に基づいて実施している国家資格試験の合格者と同等として追加・認定するもの。

すでに認定している空気調和設備配管の技能検定の1・2級合格者と同じく管工事における認定とし、経営事項審査でも技術力(Z)の評点を1級で2点、2級(実務経験1年以上)で1点加点する。

術者や工事現場への配置が必要な主任技術者として「冷凍空気調和機器施工」の技能士を追加するため、建設業施行規則を一部改正した。3月1日から施行する。

アーク溶接特別教育

来月3日から受付け

日本溶接協会県支部

日本溶接協会県支部(相良達之支部長)は、労働安全衛生法を遵守し、止を図るためアーク溶接特別教育(安全講習会)を4月11、12日の両日に祉センターで開く。

受講希望者は、同支部所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上、3月3日から14日までに申し込みが必要。

問い合わせは、同協会県支部(☎099・225

きょうの天気

地方	天気	風	降水確率
薩摩	曇所一時雨 昼前から晴	北東	20% 0%
大隅	曇所一時雨 昼過ぎから晴	北東	30% 0%
種子屋久	雨昼前から曇のち晴	北のち北東	50% 10%
奄美	曇朝の内一時雨	南西のち北東やや強く	50% 20%

降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

日	曜	鹿児島・種子・屋久地方 天気	降水確率	気温	奄美地方 天気	降水確率	気温
28	金	後	60%	15° 6°	時々	50%	20° 15°
1	土	後	60%	18° 12°	一時	50%	21° 16°
2	日	時々	20%	18° 9°	時々	20%	20° 15°
3	月		40%	18° 8°		40%	21° 14°
4	火		40%	15° 10°		40%	19° 15°

《概況》向こう一週間は、期間の中頃に晴れる日があるが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の降る日が多い。

行政動静

2月27日(木)

【県庁】
○知事……午前庁外、午後在庁
○副知事……出張
○土木部長……在庁

【鹿児島市】
○市長……市内
○木村助役……市内

【鹿児島国道事務所】
○所長……午前在庁、午後庁外
○田中副所長……午前在庁、午後庁外
○喜多川副所長…在庁

【川内川工事事務所】
○所長……在庁

【大隅工事事務所】
○所長……在庁

【鹿児島港湾空港工事事務所】
○所長……午前在庁、午後庁外

【志布志港湾工事事務所】
○所長……在庁

【日本道路公団鹿児島工事事務所】
○所長……在庁

※予定が変更になることがありますので、ご了承下さい。